

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (多文化共生・多様性コース)			訪問国	カナダ
学校名	静岡県立浜名高等学校	氏名	澤木 美依奈	学年	2

1 留学を希望した動機

小学校6年生の頃、父親の仕事の都合で始まったインドでの多様な人々との関わりが、私にとって初めての国際交流だった。互いの文化の違いを共有し認め合うことの楽しさを実感し始めて間もなく新型コロナウイルス感染症の世界的な流行で緊急帰国となってしまい、思うような学び、経験ができなかったことに大きな悔しさを覚えた。この経験が多文化共生に興味を持つきっかけとなり、高校生になって担任から紹介していただいたトビタテについて調べてみると、自分で計画を立てられる点に強く惹かれ、ここでリベンジを果たしたいと思い留学を決意した。

2 現地での活動

語学学校での英語教育の比較のほか、街頭でインタビューやアンケートを行い、多文化共生について住民の意見を募った。アジアやヨーロッパ系の人々を中心として、約30名の方に大きくわけて「多文化共生の認知度」と「母語とする言語」の2つ質問をした。

1つ目の質問の結果として、日本では今となって多くの人が耳にする多文化共生という言葉だが、現地では想像以上に認知度が低く、言葉は聞いたことがあっても意味は知らないという人を含めれば約9割が知らないということだった。多文化共生という言葉を知らずともこのような社会を当たり前のように形成することが出来ているトロントにさらに興味が湧いた瞬間だった。

2つ目の質問については、約4割の人々がカナダの公用語である英語やフランス語以外を母語としていることがわかった。

その4割の人々はどのようにして周囲に馴染んでいるかということが気になり追加で質問をしてみた。結果、それぞれのスタイルで言語を習得し、周りに溶け込もうとしているのだということがわかった。



3 留学後の活動

現地での学びや経験をさらに深めるため、浜松市で行われている国際交流のボランティアやイベントに参加した。また、県内のトビタテ生の仲間で「Fuji's teens」という団体を立ち上げ、その団体の副代表として随時行われるミーティングやイベントを企画、実行している。

「Fuji's teens」は、静岡県谁也が幸せに過ごせるような社会づくりへの貢献を目標にしている。

今は三月末に行われるイベントで、世界の茶葉と静岡の茶葉のブレンド体験を行う予定である。

4 今後の活動について

多文化共生という大テーマで現地でも活動をして来て、様々な工夫がされていることを知ってさらにトロントという都市、多文化共生に対する興味が湧いた。また、実際に活動していると道路や玄関前、公共の場のあらゆるところに虹色の旗をみつけた。後日調べるとその旗は有色人種、それから LGBTQ+ を色で示している。全ての人に包括的であることを示すこの旗から、私は性の観点にも改めて興味を持ち、今後、多様性社会について考察を深めたいと考えている。

